

- 熱間圧延ステンレス鋼等辺山形鋼 (アングル)
- 熱間仕上ステンレス鋼チャンネル
- ステンレスフラットバー — **HOT品・#400品**
— **COLD品・HL品**

● **適用範囲**

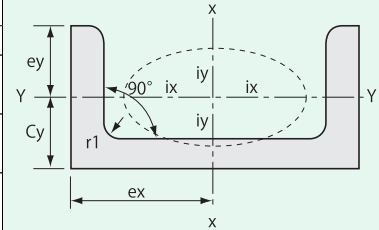
仮設建造物のフレーム材、給排気ダクトの補強材としての使用又、ステンレスは美観・耐食性強度・加工性などにすぐれ広範囲の用途で使用される。

■ 熱間圧延アングル寸法許容差

直角度	90° ±2°			
曲り	1mにつき3mm以下、 全長に対して $\frac{3\text{mm} \times \text{全長m}}{1\text{m}}$ 以下			
長さ	+40mm、-0mm			
厚さ	辺長	20~90	100	125~150
	t	±0.4	±0.6	±1.0
辺長	20~25	30~50	60~90	100~150
	±1.5	±2.0	±3.0	±4.0

■ 熱間圧延チャンネル寸法許容差

直角度	90° ±2°
曲り	3mm/1m以下
長さ公差	+40mm-0mm
断面二次モーメント	$I=ai^2$
断面二次半径	$i=\sqrt{I/a}$
断面係数	$z=I/e$ (a=断面積)



■ 熱間圧延丸鋼、角鋼及び六角鋼の許容差並びに偏径差又は偏差

単位：mm

径、辺又は対辺距離	寸法許容差	偏径差又は偏差 (注)
15以下	±0.3	許容差範囲の75%以下
15を超え 25以下	±0.4	
25を超え 35以下	±0.5	
35を超え 50以下	±0.6	
50を超え 80以下	±0.8	
80を超え 100以下	±1.0	
100を超え 120以下	±1.3	
120を超え 160以下	±1.6	
160を超え 200以下	±2.0	
200を超えるもの	±1.2%	

(注) 偏径差又は偏差は、同一断面における径、辺又は対辺距離の最大値と最小値との差で表す。

■ コールドフラットバー寸法許容差

単位：mm

厚さ	幅	3~9	10~18	19~30	31~50	51~75	76~100	101~150
		厚さの許容差	2	0/-0.06	0/-0.14	0/-0.14	0/-0.16	0/-0.18
	3							
	4	0/-0.06	0/-0.18	0/-0.18	0/-0.20	0/-0.22	0/-0.22	
	5							
	6	0/-0.10	0/-0.18	0/-0.18	0/-0.20	0/-0.22	0/-0.26	
幅の許容差		0/-0.10	0/-0.20	0/-0.25	0/-0.30	0/-0.35	0/-0.35	0/-0.35
ドロ一品	厚さ・幅	8~9	10~18	19~30	31~50	51~80	81~120	121~124
	許容差	0/-0.22	0/-0.27	0/-0.33	0/-0.39	0/-0.46	0/-0.54	0/-0.63
ドロ一品	厚さ・幅	125~180	181~250	251~300				
	許容差	0/-1.00	0/-1.15	0/-1.30				

※例：サイズ9×125の場合は厚み+0/-0.22 幅+0/-1.00となります。

■ 圧延ホットフラットバー寸法許容差

単位：mm

厚さ t	幅 W	≤50	50<W≤75	75<W≤100	100<W≤125	125<W≤150	150<W≤350
		~ 20	幅 ±0.8	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5
	厚さ ±0.4	±0.5	±0.5	±0.5	±0.5	±0.6	
21~ 36	幅 ±0.8	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5	
	厚さ ±0.5	±0.5	±0.5	±0.6	±0.6	±0.6	
37~ 40	幅 —	±1.0	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5	
	厚さ —	±0.5	±0.7	±0.7	±0.7	±0.7	
41~ 50	幅 —	±1.2	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5	
	厚さ —	±0.8	±1.0	±1.0	±1.0	±1.0	
51~ 150	幅 —	±1.2	±1.2	±2.0	±2.5	±2.5	
	厚さ —	±0.8	±1.0	±1.0	±1.0	±1.0	

※上記より厳しい寸法許容差についてもご相談に応じます。

■ 弊社の特色

※接断品の取扱もしております。

※常時在庫以外のサイズもお問合せ下さい。